



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2011 / 2012)

国際会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 アジア会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 西日本区理事 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
 中部部長 「先ず一歩ー楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげようー」
 名古屋クラブ会長 「もういっちょ皆でがんばって 楽しく充実した例会を」

2011 ~ 2012 4 月 号 (No782)

4 月例会プログラム

と き：2012年4月11日(水) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.

ところ：名古屋 YMCA

司 会 加藤 朱美さん
 開会宣言 会 長 飯田 純子さん
 ネットソング・ワイズソング
 聖書朗読・祈祷 尾関 静枝さん
 食 事
 プログラム
 ネットの歩み「スライド」
 みんなで歌おう春の歌
 諸報告
 ハッピーバースデー
 賛美歌 II -164
 閉会宣言 会 長 飯田 純子さん

メネット会の願い

飯 田 純 子

日ごろは、メン、メネットの皆さまにはメネット活動にご協力いただきありがとうございます。昨年の大震災を経験して普通の生活を当たり前に戻れることを感謝したいと思います。人と人のつながり、絆の大切さを強く感じた1年でした。これからも、被災地の方々に寄り添い短期間でなく長期間に亘って関わって行かなければと思います。

名古屋メネット会は、昨年50周年を迎えることが出来、感謝でした。今年の主な活動は、昨年同様、愛実の会での食事奉仕を月に一回、40食作ります。第二土曜日の10:00am~1:00pmメネット3名で担当します。

しかし最近は、メネット会だけでは、人数のローテーションが難しく、2名のメネットさんが中心にいただいている現状です。しかし、今年は、他クラブのメネット、元メネットの応援も受けることが出来ました。

年1回の奉仕でもかまいません、参加いただきたく願います。いつも愛実の会のメンバーからエネルギーをもらっています。「愛実の会 = NPO法人・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実、大地の会 / 紙風船」

メネット会の先輩の方からは、おもいやりの心と会を運営する知恵、若い方からは行動力と維持力を頂いています。メネットナイトは「メネットの歩み」を皆様と見ながら懐かしい人・場面を通して大いに盛り上げていただくことを願っています。

第 2 例 会

と き：2012年4月17日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

ところ：名古屋 YMCA

プログラム：5月例会について他

会 長 渡辺真悟 書 記 平野美郎 千賀 将
 副 会 長 五島八郎 会 計 川口 恵 塩田 保
 プリテン 久保田 平野 伊左治 深谷

3月クラブ出席		B	F	3 月 個 人 出 席						第 一 例 会 (3/14) メネット 伊左治 飯田 加藤(朱) 五島 西村 第 二 例 会 (3/21) メネット 加藤(朱) 3.11 揚がれ! 希望の風 in 愛知 (3/11) 相馬 加藤(明) メネット会 (3/17) 飯田 伊左治 尾関 加藤(朱) 加藤(邦) 長井 西村 DBC 交流会 (3/9-10) 岩田 川本 木本 久保田 相馬 谷川 成瀬 西村 メネット 長井 飯田 西村 加藤(邦) 次期会長・主査研修会 (3/10-11) 成瀬 谷川 渡辺 川本 川口 平野 熊本むさしクラブ15周年記念例会 (3/24) 成瀬
在 籍	27名	3 月	切手 120pt	青 木	木 本	○	中 野	◎	◎	
第1例会	15名		現金 0pt	飯 田	久保田	◎	成 瀬	◎		
メネット	5名	小計 120pt		伊左治	○	五 島	◎	西 村	◎	
第2例会	8名		切手 2170pt	岩 田	○	小 谷	○	平 野	○	
メネット	1名	現金 22000pt		尾 関	○	塩 田	○	深 谷	○	
ゲスト・ピジター	0名		累計 (7~3月)	小 尾	○	鈴 木	功	水 谷	◎	
メーキャップ	1名	累計 24170pt		加藤明	○	千 賀	◎	渡 辺	◎	
出席率	57.7%		川 本	加藤晃	○	相 馬	◎			
メネット会	7名	川 口		川 本	○	谷 川	○			
ゲスト・ピジター	0名	寺 田	川 本	○	寺 田	○				

◎第1 ○第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ

■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2012年3月14日(水) 6:30p.m.～8:30p.m.
ところ：名古屋YMCA

3月の例会は恒例のオークションでした。メンバーがいろいろの品物を持ち寄って、自分が希望する価格で買い取っていくわけですが、その価格の付け方のやりとりが楽しいわけです。担当して下さった谷川さん、中野さんの明るい持って行き方がとてもよかったです。

例会がオークションの時、何時も思い出すことがあります。それは既に天に召された深谷誠さんがプリテンに書かれた「猫の茶碗」の話です。ある人がとても値打ちのある茶碗に猫の餌が入れられて、それを猫が食べているのを見ます。

猫の飼い主にその茶碗を譲って欲しいと頼みます。猫の飼

.....

■■■ 第2例会レポート ■■■

と き 2012年3月21日(火) 19:00～20:20
ところ 名古屋YMCA

1.2011 - 2012 プログラム

4月11日(水) メネットナイト

プログラムはメネットの歩みのスライド、合唱

5月19日(土) 野外プログラムは根ノ上YMCA キャンプ場でバーベキュー大会

食材調達担当：小尾メン、会費2000～3000円/人
Yのリーダを誘う、現地11時集合、メンバーの交通手段の確認

交通手段の確認を4月第1例会で行う。

6月13日(水) 委員会：今年度を振り返り、反省評価し、次年度活動を考える。

6月23日(土) 潮干狩り 予約を小尾メンよりしていただき、社会館へ連絡。

5月第2例会にて社会館との打ち合わせを行う。

2.その他

(1) 2012 - 2013 西日本区大会実行委員会

3月16日名古屋YMCAにて開催。テーマ、会場の詳細について話し合われた。

次回、4月13日(金) 19:00～於名古屋YMCA 各分科会はそれまでに担当部分について検討しておくことが求められた。

(2) 3月20日 中部評議会とYYYフォーラム

無事盛況のうち終了 中日新聞、東海テレビに取り上げられた。

い主は茶碗の値打ちを知らないのです。双方のやり取りの書き方が面白いのでした。失礼ながらオークションに出てくる茶碗などの陶器類の価値を正確に知られるメンバーは少ないと思います。安く買うと出された人に申し訳ないと迷うのが普通なのではないでしょうか。しかし、そこを許しあって楽しむ。これが大切だと思っています。

ある組織で東北の大震災の救援資金を目的としたオークションとバザーが行われたときのことです。提供された品物をオークション向けとバザー向けに予め分けてオークションとバザーを行なっていました。このように行なうには手数も掛かりますが、オークションに出す品物に「これ位で」という表示があってもいいと考えます。

今回の売り上げ額は46,600円でした。担当して下さった谷川さん、中野さん、売り上げ額の処理をして下さった塩田さんに記して感謝いたします。 (小谷治郎)

.....

(3) 西日本区大会

3月例会で受け付けた25名の申し込み渡辺会長により完了した。

まだ申し込みをされていない方の参加をお願いする

(4) 4月14・15日 第1回準備役員会(2012 - 2013年度西日本区)

(5) 来年度ロースターの校正

(6) 若い会員、特別メネットの会費の検討
今後、例会にて議論していく。

(7) 会計より

①西日本区後期分 \205,000

②BF \23,000

③CS (年賀切手) \8,670

④YMCA 国際協力支援金 \60,000

⑤YMCA 施設使用料 \67,000

⑥DBC 交流会みやげ \24,000

支出した。

(千賀 将)

.....

CS からのお知らせ

年賀切手の集計です。皆様ご協力有難うございました。

年賀切手集計

木本精之助君	9枚	西村 清君	6枚
成瀬 晃三君	5枚	尾関 明君	2枚
谷川 修君	10枚	相馬 静香さん	7枚
加藤 明宏君	6枚	飯田 和也君	5枚
		合計	55枚

○和歌山紀ノ川クラブ・熱海グローリークラブ 交流会報告○

雪女 返上か？ いやたまたまです。

谷川 修

過去3回のDBC、IBCでことごとく雪に見舞われるのは、この人のお陰？ その某メネットも参加して、開かれたトライアングルDBC交流会、雪交じりとはいかないものの、いつ雪に変わってもおかしくないような冷たい氷雨が降る岸和田でした。3月9日(金)から10日という日程は、翌日から大阪で西日本区の次期会長・主査研修会が開催されるということで、次期理事を初めてとしてその研修会に参加するメンバーにとって都合が良からうと、今回ホスト役を務めて下さった紀ノ川クラブメンバーが考えられたようです。それも、今、朝の連ドラ「カーネーション」の舞台として大ブレイク中の岸和田の地で開催されるということで、我が名古屋クラブからは、3つのクラブで一番多勢の12名が参加しました。実を言いますと、御免なさい。朝 近鉄名古屋駅で集合したわがメンバーをみた時、「ああ、私もついにこの方たちの仲間入りなんだ、年金暮らし一年目ながら、そう、いわゆるお年寄りの仲間入りとなったんだな」としみじみ思ったことです。それでも、語り、ビールの飲みっぷりは若い者に負けていません。ビールは私も含めてほんの一部の者ですが、とにかく、近鉄ノンストップ列車の中でのおしゃべりが止まらない。2時間はあっという間です。

難波から南海電車に乗り換えて30分、いよいよカーネーション舞台の岸和田です。お迎いのメネット達、美しさは名古屋クラブのメネットに劣らないものの、髪の色も負けていない。そば降る雨の中、バスに揺られること30分、こんな自然いっぱい場所なのに、まだ岸和田市なの？ と思うようなとても自然豊か、風光明媚な所が交流会の会場であり宿泊場所の牛滝温泉「いよやかの郷」です。そうですね、名古屋近郊で似た場所というと、湯の山温泉辺りでしょうか？

早速 浴衣に着替えて まずは温泉です。何万年もの地層から湧き出る温泉という触れ込みに嘘偽りはない？、とにかく、とっても良い。少し浸かっているだけで肌がつつつ、すべすべです。今回、この交流会を逃した皆さん、是非 時間をつくって行かれると良いですよ。特に、メネットさん、美しさに磨きがかかりまっせ。(つい、大阪弁になってまった。) 温泉宿は、この1軒だけですが、どうも公営施設の

ようで、お値段もとても安くおまっせ。

さて、ゆったりと温泉に浸かった後は、いよいよ交流会です。昨年、初めてのトライアングル交流会の思い出話が、故長井メンを偲びつつ語られたり、実に和気あいあいとした楽しい時間です。熱海グローリーのメンバーからは、早々と「次は熱海だな、メンバーの一人が経営している宿でやろう」といった話も、酒を注ぎ合いながら話されます。うーん、これは、毎年恒例行事となるのか、楽しみだなあなど思っていると、それぞれ持ち寄ったお土産の交換会？ 名古屋からはかさばるものの、重くないので“えびせんべい”に致しました。御土産代、ちょっと使いすぎたかも、会計さん御免なさい。紀ノ川クラブからは、宅急便で送られたデコボン。3月第一例会に出てきたあれです。熱海グローリークラブからのおみやげも、3月例会でみんなで食べたあのお菓子ですよ。どちらもおいしかったなあ。紀ノ川クラブの土肥さんは、残念ながら参加できないので、旅行に行ったおみやげといって60度の泡盛を代わりに参加させてくれましたので、早速、2次会で一瓶味あわせてもらいました。誰だ、そのままストレートで飲む奴は、あ、まあ、誰かわかりますよね。だから言わないでおこうと。これは、もう一瓶頂ました。そちらは5月の根の上例会で飲むようにしてあります。(この様に宣言して、意地汚い口を封じておかないと) ところで、酒のつまみにイチゴって どう思いますか？これがすごくおいしいんですよ。紀ノ川クラブが持ってきてくれたイチゴ自体





がおいしいというのもあるのですが、この不思議でいて、絶妙な取り合わせ、是非一度お試しあれ。飲んだ飲んだ。とにかくこういう交流会があるからワイズは楽しいということを存分に味あわせてもらいました。来年は、熱海にて 再会の約束をしています。バスを借り切るとか、なんでしたら 社会館の通園バスを運転しますので、たくさんのメンバーで行きましょう。今から楽しみだなあ。いろいろ考えているうち、すっかり酩酊、後はぬくぬくの布団の中。

さて翌日、夜来の雨もすっかり上がり、会長・主査研修会場の大阪へ向かう成瀬君、川本君、谷川君の3名と別れを告げた残りの9名は熱海グローリーと紀の川のメンバーと共に、朝のNHK連ドラ「カーネーション」の舞台、だんじりの街、岸和田の街並みへと繰り出した。岸和田観光ガイドのおじさんの手旗に引率され、修学旅行の生徒のようにまずは、駅前通りのコシノ洋裁店から見学、テレビドラマで使われた、小原洋裁店の看板他、大道具、小道具等のセットを見学、4トンからある重いだんじりが駆け巡る通りの地面の特別舗装、表通りは全部2階建て大窓つき（だんじりを見るた

め)等の説明を聞きながら散策、勇壮に駆け上がる小半坂(こなから坂)を経てだんじり会館へ到着。

「だんじり〔壇尻・楽車・山車〕祭礼の曳物で車上に山・人物・草木・禽獣などを飾り立て、囃子を行うもの」。

精巧な匠の業で作られた彫り物など、いろいろ解説を聞きながら見学、締めはホールで映像と音響による迫真のだんじりの曳き回しを体感。また昼の勇壮鼓舞、夜の幽玄な静寂(しじま)これを表す2つの顔のあることに一種のオーラを感じた。

最後は岸和田城の一郭にある料理屋での昼食、素晴らしい景色を眺めながら、例のドラマ「カーネーション」のモデル小原糸子こと故越野綾子さんと親交があった女将の岸和田よもやま話、ドラマ撮影の裏話などは興をそそられ、一層この街に親しみを覚えた。

なおこの食事は紀の川クラブのご提供との事、ご馳走さまでした。いろいろなご配慮をいただき紀の川クラブの皆様には厚く御礼申し上げます。

さてお次は「熱海の海岸散歩する・・・」

(文中 2日目を補足、久保田)



.....

3.11 揚がれ！希望の凧 in 愛知

震災からちょうど1年のこの日、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で、凧揚げのイベントが開催されました。元



グランパスクラブの奈良明彦さんの呼びかけに応じて、被災地への思いを凧に託し、日本中、世界中の空がつながっていること、支援することを忘れないと凧を揚げました。愛知県に避難しているご家族やYMCAの会員

家族約300名、ワイズメンズクラブや日本凧の会東海支部、YMCAスタッフ・リーダーのボランティア約50名が参加しました。HPでは国内23か所、海外5か所で同様のイベントが実施されたと報じています。またパレスチナ・ガザ地区では、予定されていた3月11日が空爆により延期されましたが、1週間後に約1,000人の子どもたちが凧を揚げたそうです。

復興を願う被災地に、そして平和を願う紛争地につながる空を見上げながら、復興と平和への思いを託しました。

(加藤明宏)

今月の聖句

「あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残しておいて、見失った一匹を見つけ出すまで捜し回らないだろうか。」

ルカによる福音書 15:4

西村 清

しばらく前にも、百匹のうちの一匹の羊についての話を書きました。社会学者の書かれた『ふしぎなキリスト教』の中に不可解な話として、この箇所が出てきます。神が人間を配慮するやり方は、人間の常識を超えている、というのです。人間の常識は、いわば現在の民主主義であって、多数決というわけです。数の多いほうが優先され、少数派は多数派の意見に従わなければならないというわけです。

しかしイエス・キリストはその公的な生涯（神の子としての、およそ30歳になってからの約3年間）の最初から、少数派を大切にされた。徴税人、遊女、羊飼、身体に障害のある人は、みな罪人とされ、一般の人々から相手にされなかった。また、このような人々は最も大切な律法を守らない者として、食卓を共にすることも禁じられていた。しかしイエス・キリストはむしろこのような人々を大切し、共に寄り添

われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく、病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」（マルコによる福音書 2:17）とイエスは語られるのです。

日本でも明治初期の頃、キリスト教会、あるいはクリスチャンが、特にそれまで顧みられなかった少数派を大切に、いろいろな事業を始めます。放置されていた女子の教育のために学校を多く造り（ミッション・スクール）、幼稚園・保育園といった幼児教育を始め、最近まで社会のために役だたないと考えられて、国が予算措置をしなかった重度知的障害者等の施設、その他多くの開拓的な事業を始めたのもキリスト教会であり、多くのクリスチャンであった。

これは九十九匹の羊を残しておいても、迷った一匹の羊を捜しに行き、見つかったら喜ぶ、という精神を大切にするというイエス・キリストの教えを実践しているという証拠である。現在のような複雑な社会にあって、この少数派を大切にするという精神はますます尊重されねばならなくなっているのではないのでしょうか。

『ワイズメンの賢い話』(No192)

『一粒の麦が死ななければ』

「今年のイースター（復活節）は、4月8日でした。イースターってどういう日であるか知っている?」「キリスト教では、クリスマスと同じように重要な日なのでしょう。」「そうだよ。イエスさまが十字架で死なれてから三日目に復活されたことを記念する日なのだよ。そして、私たちが、たとえ死んだとしても、イエスさまと同じように、新しい命に生きることを願う日なのだよ。イエスさまは、私たちの代わりに私たちの罪を背負って十字架で死んで下さったのだけど、イエスさまは十字架で死なただけではなくて、三日目に復活されたということが重要なんだよ。そのことをイエスさまは“一粒の麦が死

ななければ、一粒のままである。だが死ねば、多くの実を結ぶ”とたとえておられるのだよ。麦は、そのまましておけば、いつまでも麦のままだけど、畑に蒔けば、その麦は死んで、新しい芽が出て、やがて多くの実がなるようになるのだよ。それと同じように、イエスさまは、十字架で死なれた後で、新しい芽が出たように復活されたのだよ。そのことを信じるならば、私たちは、たとえ死んだとしても、復活して新しい命に生きることができるようになるのだよ。そのことを私たちに示して下さったのが、イエスさまの復活であって、そのことを思い起こすことがイースターなのだよ。」

（ヨハネによる福音書 12章 24節）

（寺田仁計）

会計より 会費納入 のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。（功労会員と特別メネット会員は年額 36,000 円です）
会費の納入は右記口座へ振込にてお願いします。
できるだけ 6ヶ月分 42,000 円を 7月と 1月に納入して下さるよう、お願いします。（3ヶ月分

ずつ納入される方は 7月 10月、1月、4月に納入して下さい）

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781
なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

メネット 3月例会報告

と き：2012年3月17日(土)
と ころ：名古屋 YMCA

梅が満開になり、池のカモ達も北へ旅立っていきます。いつもの春が巡って来た、といたいのですが――。

あれから一年、この3.11を迎える迄の日々をわたしたちはどう生きてきたのでしょうか。加えてメンバー各々の身辺にも様々な変化がありました。

51回目のメネットナイトは余り気張らずに、ゆっくりと春の一夜を楽しむ、そんなプログラムです。しかし一方では、早々と来期に向けて会長はじめ三役が決まりました。これは画期的な事件!!です。心を引き締めて、次への序走に入ります。メネットさん達どうぞ、それぞれのメンを支えて下さいませ。

笑いながらしゃべる、これはメネット会のお家芸。テンポ良く2:30閉会。

4月メネット会ごあんない

4月11日(水)メネットナイト
準備のためメネットはYMCAに17:00集合
メネットナイトの出欠を4月7日(土)までに飯田までご連絡ください。TEL 0573-65-6420

4月14日(土)愛実の会奉仕
担当 西村 加藤(朱) 松本淳子(東海クラブ)

附記

3月20日 YYフォーラムに参加。

私にとって、こんなに意義深い機会はありませんでした。

愛知県への避難者1300人。特に福島からの方々は、『心が空っぽです。現地に留まるのも、他所に非難するのも、その選択に何の価値も感じられないのです。』『放射能と共に生きる』というコトバもありました。差別意識との戦いが続きます。(西村牧子)

西日本区大会参加費についてお願い

西日本大会の費用は、クラブで一括して送金しますので、下記リストの金額をご確認の上、4月第一例会にて現金で持参頂くか、またはワイズの郵貯口座に4月15日までに振込をお願いします。(ゆうちょ銀行 記号12120 番号82306781)

氏名	参加費	ホテル	合計(円)
飯田和也 純子	42500	16000 T	58500
岩田鑛一	17000	9000	35000
(9000 エクスカーション含む)			
尾関 明 静枝	36500	16000 T	52500
小尾雅彦	20000	17500	37500
加藤明宏 朱美	36500	16000 T	52500
川口 恵	21500	17500	39000
川本龍資	33000	17500	50500

木本精之助	21500	9000	30500
久保田啓	17000	9000	26000
五島八郎	20000	9000	29000
小谷治郎 充子	33000	16000 T	49000
塩田 保	17000	9000	26000
千賀 将	17000	21000 T	38000
相馬静香	17000	9000	26000
谷川 修	31500	17500	49000
長井衣世	18000	9000	27000
中野美幸	18500	9000	27500
成瀬晃三	31500	17500	49000
西村 清 牧子	35000	16000 T	51000
平野実郎	31500	17500	49000
深谷 誠	34500	17500	52000
渡辺真悟	31500	17500	49000

(T: ホテルツイン)

ハッピーバースデー

メン
4月21日 塩田 保君
22日 黒川 博英君

メネット
4月1日 加藤 朱美さん
5日 谷川 智子さん

Happy Wedding Anniversary

4月
12日 木本精之助・洋子夫妻
26日 小尾 雅彦・昌代夫妻

BF

切手
深谷 聡君 120pt